

市町村名	多良間村
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-①	美化緑化推進事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ
担当部課名	観光振興課	事業実施 (予定)年度	令和3年度～ 令和13年度	多彩かつ質の高い観光の推進
			沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容
 快適な観光地を形成するために、観光関連施設や周辺道路の美化・緑化を行う。
 【実施箇所】
 ・観光関連施設及びアクセス道路(農村公園・ふるさと海浜公園・八重山遠見台・前泊地区東屋等・三ツ瀬公園・宮古市の森公園・村営GG場・テニスコート周辺・多目的広場)

効果発現年度 当年度 後年度(年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	8,136	9,252	8,870	8,870	8,870
		(b) 予算現額	4,626	8,360	7,480	8,690	8,690
		(c) 増減額(b-a)	▲3,510	▲892	▲1,390	▲180	▲180
		(d) 繰越額			0	0	
		A. 計(b+d)	4,626	8,360	7,480	8,690	8,690
		B. 執行済額	2,732	8,360	7,480	8,690	8,690
		うち交付金充当額	2,185	6,688	5,984	6,952	6,952
		次年度繰越額			0	0	0
		執行率(%) (B/A)	59.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		予算の状況の説明	当初の計画通りで、想定内の予算執行であった。 180千円の減額は入札残である。				

活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況			
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
公園9カ所の美化・緑化を実施し、観光客等が気持ちよく利用出来るように取り組む。	目標	公園9カ所の(美化・緑化の実施)	公園9カ所の(美化・緑化の実施)	公園9カ所の(美化・緑化の実施)	公園9カ所の(美化・緑化の実施)
	実績	公園9カ所の美化・緑化の実施	公園9カ所の美化・緑化の実施	公園9カ所の美化・緑化の実施	公園9カ所の美化・緑化の実施
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	・公園9カ所・観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を年6回実施し、年間を通して美しい景観を保つことが出来た。観光地としてふさわしい景観及び道路環境であるかの満足度調べにおいては、7月から9月迄の期間、空港、夢パティオたらま、地域振興拠点施設、港の4カ所で満足度調査を実施した結果、満足した人が85%となり、目標を達成した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
		目標	()	(80%)	(80%)	(85%)
	実績		85%	85%	85%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()
進捗状況説明	・公園9カ所・観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を年6回実施し、年間を通して美しい景観を保つことが出来た。観光地としてふさわしい景観及び道路環境であるかの満足度調べにおいては、1月から3月迄の期間、空港、夢パティオたらま、地域振興拠点施設、港の4カ所で満足度調査を実施した結果、満足した人が85%となり、目標を達成した。					

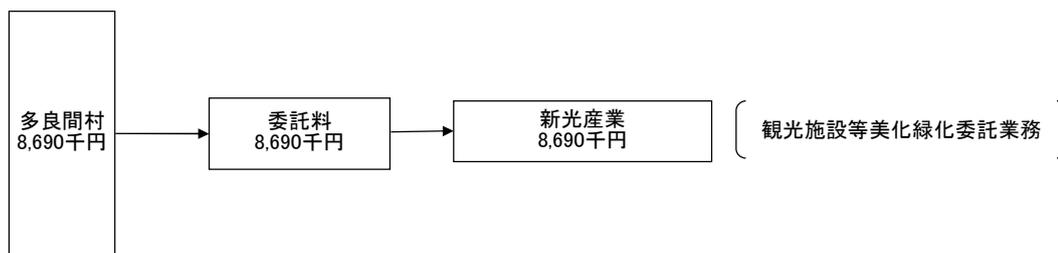
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	公園9カ所・観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化の細箇所等の除草、枝打ち作業を定期的実施、台風後の観光関連施設及びアクセス道路周辺の片付け作業等もスムーズに行え、年間を通して美しい景観を保つことが出来た結果、目標を達成することができた。課題としていた公園8箇所に設置されているトイレ・シャワー室の修繕等も進めることができた。緑化の部分で植栽計画をたて、年2回、4カ所の公園施設に花木の植栽を行いより美しい景観を構築できた。	<ul style="list-style-type: none"> ・目標としている満足度85%以上の達成率の維持を目指す。年間を通して観光関連施設や周辺道路の美化緑化を図り、満足度調べで検証していく。 ・3月～夏期にかけ雑草が繁茂し害虫の発生等も心配されるため除去作業をより丁寧に行う。周辺の木々の枝打ち作業も繁茂期は毎回行う。 ・今年度も引き続き緑化の部分で植栽計画をたて、より美しい景観を構築していく。

今後の取り組み方針

- ・各公園9カ所・観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を年6回実施し、年間を通して美しい景観を保つことが出来るよう取り組む。
- ・村全体が美しい景観が保てるよう他部署とも連携して検証していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
8,690	8,690	6,952	1,738	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額なく、適正な予算規模と考えられる。 ○費目・用途については、精算において支出等に関する書類により確認しており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		多良間村					
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	多良間村の自然を活かした観光コンテンツ開発事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-イ	
担当部署名	観光振興課	事業実施(予定)年度	令和3年度～令和5年度		沖縄振興基本方針該当箇所	SDGsに適應する観光ブランド力の強化	
事業内容	1人当たりの村民所得が県内でも低位にある多良間村において、滞在型観光を推進し、誘客促進及び島内消費額の増加を図るため、地理的特性や地域資源を生かした、体験型観光コンテンツを開発する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R3年度	R4年度	R5年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	13,648	7,303	8,000		
		(b) 予算現額	11,278	5,606	4,000		
		(c) 増減額(b-a)	-2,370	-1,697	-4,000	0	0
		(d) 繰越額	0	0			
	A. 計(b+d)		11,278	5,606	4,000	0	0
	B. 執行済額		11,278	5,606	3,957		
	うち交付金充当額		9,022	4,484	3,165		
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		0.0%	0.0%	98.9%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		・持続可能な観光ガイド10名育成業務にあたり、島内でコーディネーターの知見を有する人材が確保できず、当該業務を削除することにより委託代金の減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	観光コンテンツ開発、島の自然を活かした観光コンテンツ2つ創出	目標	(2)	(2)	(0)	()	
		実績	3	2	0		
	(1)観光PR動画制作 1件 (2)ガイド・コーディネーター育成 10名	目標	(0)	(0)	(2)	()	
		実績	0	0	1		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・本村伝統行事である「八月踊り」、「スツウプナカ」、「たらま島一周マラソン大会」等の夏場シーズン中の自然風景や農業・牧畜の撮影を行いPR動画を作成し、作成した動画は島外での宣伝、各種イベント等で活用するほか、島内では多良間村地域振興拠点施設や多良間空港等で放映されている。 ・体験ガイド、コーディネーター育成事業であったが、教育人材の不足や人口減少等の理由より事業廃止になった。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(R6年度)
	観光PR動画を作成することによって観光客の増加が見込まれる。	目標	()	(0)	(0)	(1)	(0)
		実績		0	0	1	
	開発されたコンテンツ(商品)を活用した観光来客者数240名	目標	()	(0)	(240)	(240)	(0)
		実績		0	114	163	
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・本村伝統行事である「八月踊り」「スツウプナカ」や「たらま島一周マラソン大会」、夏場シーズン中の自然風景や農業・牧畜の撮影を行いPR動画を作成し、作成した動画は島外、多良間空港出発、到着ロビーでの宣伝、各種イベント等で活用している。 ・体験型ガイド、コーディネーター育成事業であったが、教育人材の不足や人口減少等の理由により事業を廃止した。(令和5年度) ・開発されたコンテンツ(商品)を活用した観光来島者は、令和3年度60人、令和4年度114名、令和5年度163名であった。目標とする観光来島者240人と設定したが大幅に下回っているが年々観光来島者は、増加の傾向にあると思います。 					

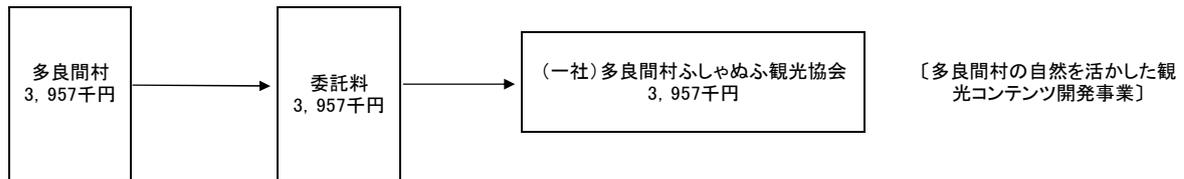
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・これまで守ってきた「美しい自然」と伝統行事などの本村の魅力を島内外にPRしてゆくため観光PRの動画の作成と発信を行い、島民は生まれ育った島への愛情・観光への理解を深め、観光客は多良間観光への足掛かりとなるような島内外両方に観光意識を高める動画作成の取組の検証をおこなう。</p> <p>・体験ガイド、コーディネーター10名育成する予定だったが、教育人材の不足や人口減少等の理由より事業を廃止になった。</p>	<p>・観光客誘致に向けて村内外方面へ向けて観光PR動画を発信し、観光誘致に努める。</p> <p>・体験ガイド、コーディネーター育成し、ガイド・コーディネーターの質の向上と観光メニュー充実を図る。</p> <p>・今後、安心、安全にアクティビティ・アウトドア体験を実施するための環境、体制づくりを行って行くとともに、島民自らが自然を活用してコンテンツを作っていくような環境を構築していくことで体験ガイドが負担にならないような体験型プログラムを作成する。</p> <p>・「多良間村の自然を活用したコンテンツ開発事業」と題した本事業は単年度区切りであるが、計3年続けたことで「多良間村ではどのような観光を推進していくか」という命題について解決方針が徐々に明確になってきている。これからは運営的側面の戦略を訓っていくこととともに地域特性を活用しつつも島民や島の自然、そして観光客にたいしても負担の少ない観光コンテンツを形成を目指して行く。</p>

今後の取り組み方針

・本村伝統行事である「八月踊り」「スツブナカ」や「たらま島一周マラソン大会」、夏場シーズン中の自然風景や農業・牧畜の撮影を行いPR動画を作成し、作成した動画は島外での宣伝、各種イベント(離島フェア、神奈川県川崎市で行われるはいさいFESTA(沖縄祭り))等で活用し、観光客の誘致を行い、多良間村の魅力を島外へ発信していきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,957	3,957	3,165	792	0



資金の流 れ、費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は村内において多良間村ふしやぬふ観光協会以外なく随意契約でおこなったが妥当であったと考えている。</p> <p>○不用額は事業費の52.6%であり不適正な規模であった。</p> <p>○受益者である観光協会は総事業費の8割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても不適合であった。</p> <p>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	×	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	×	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		多良間村					
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	優良繁殖雌牛導入支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ア	
担当部課名	産業経済課	事業実施(予定)年度	平成27年～令和6年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	生産農家が経営の安定化及び良質な肉用牛の改良推進を図る為、優良繁殖雌牛導入を支援する。優良繁殖雌牛を導入する際に購入価格の1/2以内で最高40万円までを支援することにより、母牛の改良を推進する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,000	8,000	8,000	8,000	8,000
		(b) 予算現額	12,000	8,000	8,000	8,000	4,000
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	▲ 4,000
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	12,000	8,000	8,000	8,000	4,000
	B. 執行済額		11,939	7,929	7,904	1,200	650
	うち交付金充当額		9,551	6,342	6,323	960	520
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.5%	99.1%	98.8%	15.0%	16.3%
予算の状況の説明		今年度の導入は、20頭予定のうち2頭が導入されており、不用額3,350千円となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	優良繁殖雌牛の導入頭数:10頭	目標	(20頭)	(20頭)	(20頭)	(20頭)	
		実績	20頭	20頭	3頭	2頭	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	今年度の導入は、10頭予定の2頭導入となっている。セリ価格下落、物価高による飼料価格の高騰等より、畜産農家にとって厳しい畜産経営環境であり、優良繁殖雌の導入が難しい状況である。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合111.0%以上	目標	()	(115%)	(122.0%)	(111.0%)	()
		実績		113.3%	122.5%	119.3%	
	【参考指標】 優良繁殖雌牛導入の支援完了頭数:20頭	目標	()	支援(20頭)の完了	支援(20頭)の完了	支援(20頭)の完了	()
		実績		支援(20頭)の完了	支援(3頭)の完了	支援(2頭)の完了	
進捗状況説明	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合は119.3%となり、目標を上回った。						

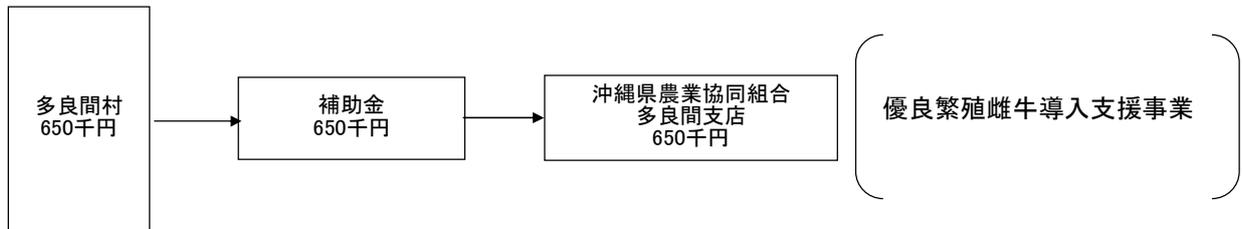
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	世界的な物価高による影響を受けて、セリ価格の下落に歯止めがかかず、キロ単価は過去5年間で最も低い状況である。また、県内平均子牛価格を下回っている。	世界的な物価高の影響によるセリ価格の下落においても、価格差は現れていることから生産農家への支援を継続していく必要がある。また、畜産農家の経営維持するための配合飼料等に対する支援も必要である。

今後の取り組み方針

畜産農家に配合飼料への補助等の各種支援を実施することにより経営維持を図る。また、本村においても畜産農家の高齢化が進んでいるが、本事業にて継続的に支援し続けることで担い手や新規就農者の確保を図っていきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,409	650	520	130	759



資金の流 れ、 点 検 評 価 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○農業協同組合は県内外での導入実績があり、妥当だと判断 ○飼養頭数の3%で年間自家保留頭数の1/3程度なので規模は適正 ○負担割合は1/2以内としており事業内容から判断しても妥当と考える ○費目・用途については、補助金支出時に検査を実施しており事業目的に必要な支出と判断
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	多良間村
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-①	児童生徒島外教育諸活動助成事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ウ
担当部課名	多良間村教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成27年～令和13年	公平な教育機会の確保と学習環境の充実
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容
小中学校のスポーツ大会等が当該で開催されるため。児童生徒の引率者(派遣)で参加するための交通費(航空運賃)及び現地での滞在費を補助する。

効果発現年度 ■当年度 □後年度(年度)

実施方法 □直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	5,455	3,632	3,435	3,634	3,967
	(b) 予算現額	3,857	1,805	1,592	3,064	3,019
	(c) 増減額(b-a)	-1,598	-1,827	-1,843	-570	-948
	(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)	3,857	1,805	1,592	3,064	3,019
	B. 執行済額	3,773	953	1,220	2,720	2,902
	うち交付金充当額	3,018	762	976	2,176	2,308
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	97.8%	52.8%	76.6%	88.8%	96.1%
予算の状況の説明	宿泊を伴わない日帰りの大会や生徒・児童の県大会出場が少なかったため、当初計画より事業規模を減額した。不用額は執行残によるものである。					

活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		①児童生徒、引率者の大会派遣に係る交通費(航空運賃)宿泊費に対する補助 ②島外の児童生徒との競争や交流の機会を通して、広い視野を広げさせながら意識の向上を図る	目標	(派遣実施)	(派遣実施)	(派遣実施)
	実績	派遣実施	派遣実施	派遣実施	派遣実施	
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	年間で20の大会、派遣延人数(教諭含む)190人が本事業を利用した。今年度は、悪天候による飛行便の欠航に左右されず、大会に派遣ができ、児童生徒や引率者の渡航費及び宿泊費の助成が実施することができた。					

成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)	
		アンケートにより大会を通じて、「島内ではできない経験ができた。意識の向上につながった」割合:80%	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績		83%	96%	97%	
			目標	()	()	()	()	()
	実績							
進捗状況説明	派遣された児童生徒へのアンケートで大会に参加して意識向上につながったとの回答が97%となり、成果目標を達成することができた。島外を出たことで、島内ではできない様々な経験を積んだことで、生徒児童の意識の向上につながったものと考えられる。							

市町村名		多良間村					
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②		学力向上推進ALT活用事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア	
	担当部課名	多良間村教育委員会 教育課		事業実施(予定)年度		平成27年度～令和6年度	国際感覚を身に付ける教育の推進
事業内容	児童・生徒の英語力向上を図るため、ALTを招聘する。						
	効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)					
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	788	788	788	788	788
		(b) 予算現額	788	788	788	788	916
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	128
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		788	788	788	788	916
	B. 執行済額		744	768	721	710	311
	うち交付金充当額		595	614	577	568	249
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		94.4%	97.5%	91.5%	90.1%	34.0%
予算の状況の説明		ALT(外国語指導助手)が一身上の都合により、R5.10/19をもって退職したため、後任のALT(外国語指導助手)を確保することが困難であったことが執行率を下げた要因である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	ALT招聘年間20回		目標 (20回の招聘)	(20回の招聘)	(20回の招聘)	(20回の招聘)	
			実績 20回の招聘	20回の招聘	20回の招聘	8回の招聘	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	今年度は、ALT(外国語指導助手)が一身上の都合により、R5.10/19をもって退職したため、外国語指導助手(ALT)の有効活用が出来なかったが、次年度は外国語指導助手(ALT)を年間20回招聘し、外国語活動や英語の時間を通して英語に対する興味・関心を喚起するとともに、異文化に対する理解を深め、国際社会に対応できる国際感覚を養いながら児童生徒の学力向上に繋げたいと考える。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	①小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績		82%	88%	87%
	②中学校 英検4級の保有割合:45%以上		目標 ()	(35%)	(40%)	(45%)	()
			実績		47%	50%	46%
進捗状況説明	小学5・6年生を対象にアンケート調査を行った結果、87%が「英語に対する興味・関心が高まった」と回答し、目標を達成した。中学校生徒の英検4級の保有割合が46%となり、目標を達成した。						

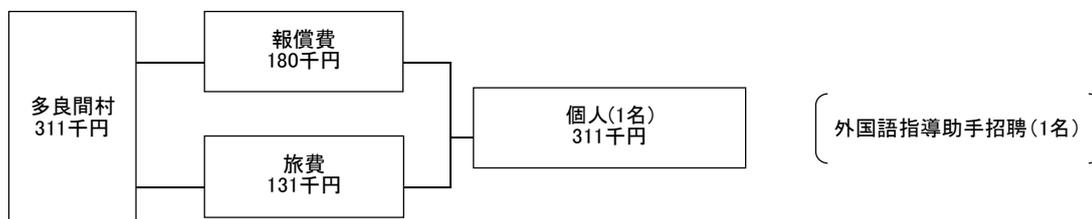
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 英語に対する興味・関心は高まっているが、コミュニケーション能力においては格差がみられる。 昨年度に比べて減ってはいるが、外国語活動や英語の授業において難しいと感じる児童生徒が未だにあり、英語力に二極化がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 未だ、学校教育において外国人とのコミュニケーションや触れ合いが乏しいため、学校生活の様々な場面における外国語指導助手(ALT)との交流の機会を増やすことで、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、聞くこと・話すことを中心とした外国語の基礎・基本を身に付けさせ、格差解消を図る。 英語力の二極化の解消を図るため、小学校及び中学校の英語の授業以外でも行われている「グループ学習」・「ペア学習」を取り入れ、習熟度別の授業カリキュラムを実践することで、小学校では、英語の音声と文字との関係を学ぶ指導を充実させ、中学校では、新たに文字を扱うことによる「文字への抵抗感」をなくすような授業づくりを推し進める。

今後の取り組み方針

- 外国語指導助手(ALT)を有効活用することで、国際社会に対応できる国際感覚を養いながら児童生徒の学力の向上を図る。
- これまでの事業内容を振り返り、授業内容の工夫・改善に力を入れるとともに、外国語指導助手(ALT)の学校現場でのより効果的な活用について検討を進め、外国語指導助手(ALT)の資質向上を図る。
- 習熟度別の授業カリキュラムを推し進めることで、「グループ学習」・「ペア学習」を通して、児童生徒に『分かる、できる喜び』を体感してもらうとともに、資質能力の育成を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
311	311	249	62	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○外国語指導助手(ALT)は、調査及び考慮の上選定しており、妥当であるとする。 ○年度途中で事業が中断しないよう、ALTの確保に務める。 ○費目・用途は予定通りで、目的に即した適正なものであった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 多良間村

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名: 3-③ 村営学習塾開設事業
担当部課名: 多良間村教育委員会 教育課
事業実施(予定)年度: 平成27年度～令和13年度
新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所: 第4章-5-(1)-ウ
沖繩振興基本方針該当箇所: III-3-(1)

事業内容: 学力向上、高校受験対策の一環として児童生徒の学習をきめ細かに支援するため、学習支援員を配置することにより、多良間村に在学する小学3年生から中学3年生を対象に国語・算数(数学)・英語を中心とした学校外学習支援を実施するための、村営の学習塾を解説する。

効果発現年度: 当年度 () 後年度()年度

実施方法: ()直接実施 ()委託 ()補助 ()負担 ()その他()

Table with 6 columns: R1年度, R2年度, R3年度, R4年度, R5年度. Rows include: 予算額・執行額 (単位:千円), 予算の状況 (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額(b-a), (d)繰越額, A.計(b+d), B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%) (B/A), 予算の状況の説明

Table with 5 columns: R2年度, R3年度, R4年度, R5年度. Rows include: 達成状況 (R5活動目標(指標)), 村営学習塾の開設 (目標, 実績), 達成状況説明

Table with 7 columns: 基準値(年度), R3年度, R4年度, R5年度, 目標値(年度). Rows include: R5成果目標(指標), 沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差, 【参考指標】高等学校入学選抜学力検査全員合格

進捗状況説明: 沖縄県学力到達度調査における県と本村学習塾受講生との平均正答率の差については、小学校は、(目標:-4.0P以上 実績:-3.9P)で目標を達成した。中学校は、(目標:-6.5P以上 実績:-5.5P)となり、こちらも目標を達成した。

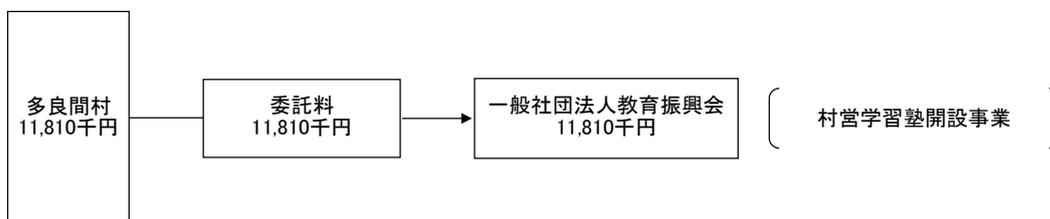
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 部活動や学校行事等の関係で出席率が低くなる傾向があるため、出席率向上へ向けた改善策を学校側も含め検討する必要がある。 一斉授業だけでなく、個々の学力に応じた授業カリキュラムを推し進め、全体の底上げを図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 村営学習塾の開講日程を小学校及び中学校の年間計画に入れてもらうとともに、周知徹底を行うという学校側の配慮により、学校行事の時間調整や部活動の時間短縮の調整が図られ、出席率アップのための改善が図られている。 すべての児童生徒の個々の学習ニーズに可能な限り応えられる学習の場、環境を整備し提供することで、「確かな学力」の定着を図るとともに、基礎学力・基礎的基本的事項の修得(特に国語・算数・数学・英語)定着・向上に繋げるため習熟度別のクラス編制を行い、個々のレベルに合わせた教科書学習やプリント学習を実践することで、学力向上推進を図る。

今後の取り組み方針

・村営学習塾の出席率向上に向けての改善策の検討・実践、学校側との情報の共有及び協働体制の構築を図る。
 ・塾での習熟度別クラス編成の実践・充実と、個々の学力に応じた授業カリキュラムの推進を図ることで、学校外教育の場での学習支援を通して、高等学校入学者選抜学力検査全員合格、沖縄県学力到達度調査における県と本村学習塾受講生との平均正答率の差の格差縮小を図る。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
11,810	11,810	9,448	2,362	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争入札により選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業途中で講師1名が体調不良で本事業を外れた影響で不用額が多く、執行率も低くなってしまったが、予算規模は適正な規模と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○教材費は受益者に負担してもらっており妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○支払いの度に検査を行い、目的に即し、必要なものだと判断する。

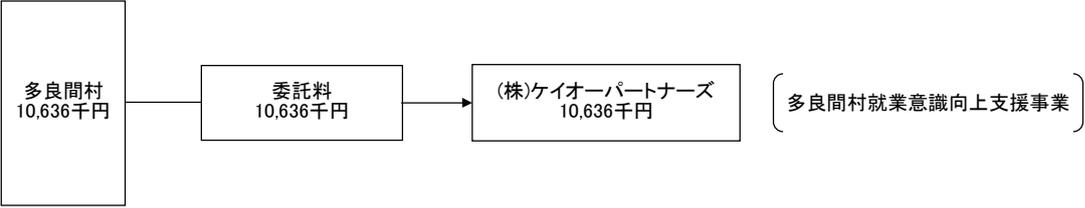
市町村名		多良間村					
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-④	多良間村就業意識向上支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(4)-ア	
担当部課名	多良間村教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成27年度～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	多様な職業能力の育成・開発 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	<p>小学6年生を対象に、沖縄本島(那覇市)を中心に企業を訪問して「ジョブシャドウイング(観察型キャリア教育)」を実施する。 中学1年生を対象に、多良間村、宮古島市を中心に「中学生多良間村課題解決プログラム」を実施する。 中学2年生を対象に、沖縄本島(那覇市)を中心に企業を訪問して「職場体験(体験型キャリア教育)」を実施する。 中学3年生を対象に、多良間村島内での「ライフキャリア教育」を実施する。</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,500	8,500	9,500	10,000	11,000
		(b) 予算現額	7,336	8,500	9,500	10,000	10,636
		(c) 増減額(b-a)	▲ 164	0	0	0	-364
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		7,336	8,500	9,500	10,000	10,636
	B. 執行済額		7,335	8,168	8,935	9,608	10,636
	うち交付金充当額		5,868	6,534	7,148	7,686	8,508
	次年度繰越額						
執行率(%) (B/A)		100.0%	96.1%	94.1%	96.1%	100.0%	
予算の状況の説明		執行率は96.7%で、不用額の364千円は入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	沖縄本島へ小学6年生(12名)、引率者(5名)	目標	(小学6年生(15名))	(小学6年生(14名))	(小学6年生(14名))	(小学6年生(12名))	
		実績	小学6年生(15名)オンラインで各企業を訪問・視察	小学6年生(14名)オンラインで各企業を訪問・視察	小学6年生(14名)	小学6年生(12名)	
	宮古島市へ中学1年生(13名)、引率者(5名)	目標	(中学1年生(10名))	(中学1年生(15名))	(中学1年生(13名))	(中学1年生(13名))	
		実績	中学1年生(10名)	中学1年生(15名)	中学1年生(13名)	中学1年生(13名)	
	沖縄本島へ中学2年生(14名)、引率者(5名)	目標	(中学2年生(8名))	(中学2年生(8名))	(中学2年生(15名))	(中学2年生(14名))	
		実績	中学2年生(8名)	中学2年生(8名)	中学2年生(15名)オンラインで各企業を訪問・視察	中学2年生(14名)	
	多良間村島内で中学3年生(15名)	目標	(-)	(-)	(-)	(中学3年生(15名))	
実績		-	-	-	中学3年生(15名)		
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> 小学6年生(12名)、引率者(5名)、沖縄本島での就業意識の向上に資する支援を実施し、活動目標を達成した。 中学1年生(13名)、引率者(5名)、宮古島市での就業意識の向上に資する支援を実施し、活動目標を達成した。 中学2年生(14名)、引率者(5名)、沖縄本島での就業意識の向上に資する支援を実施し、活動目標を達成した。 中学3年生(15名)、多良間村島内での就業意識の向上に資する支援を実施し、活動目標を達成した。 					
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		83%	89%	87%	
		目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明		キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートの結果、働くことへの興味・関心が湧いた児童生徒は、87%(小学6年生82%、中学1年生82%、中学2年生91%、中学3年生93%)となり、目標を達成した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・村内では、企業や職種が少なく、それにより興味・関心及び働くことへの意識が希薄であるということが挙げられるため、多くの職業があることを知る、職業の拡がりを知るといった「就業意識の芽生えを育む」取組の充実を図る必要がある。 ・地域に対する興味・関心が薄く、多良間村の現状と課題もわからない児童生徒がいるという現実があるため、その課題解決に向け、他者との対話を通して自身の考えを深め、広げる力をさらに向上させるため「学び・育ちの美感」の醸成を図る必要がある。 ・自分の将来像を明確に設計せず、島を旅立つ(15の旅立ち)生徒がいるという現状がまだにあるため、「自己肯定感、自己有用感を実感させる取組」「社会や生活との繋がりを意識する取組」における継続的支援体制を整え、「15の旅立ち」に向けた資質・能力の育成を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学6年生には、数多くの職種に興味・関心を持たせ、これまで以上に働くことへの意識付けを行う必要がある。 ・中学1年生には、地域への愛着と誇りを持ってもらい、多良間村の現状と課題を知る中で、中学生なりに分析することにより、地域について興味・関心を深めてもらうためのキャリア教育に力を入れる必要がある。 ・中学2年生には、村内にない業種や職種にふれ、村内の業種や職種との違いや共通項に気づき、村内外の産業や職業への理解を深めてもらい、将来の夢、生き方、進路等の選択に生かしてもらうための機会を増やす必要がある。 ・中学3年生には、小学6年生から中学2年生までのキャリア教育を通して自分自身を見つめなおし、今後自分はどのように生きていきたいのか考える機会とし、自身の将来や進路をイメージし、自分らしい生き方・働き方をデザインしていく必要がある。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の就業意識の向上のため、産・学・官が一体となった協働体制の構築に努め、多良間村の現状と課題を把握するためにキャリア教育の実践・充実を推進し、地域に還元できる児童生徒の育成のため、人材の還流を図る。 ・島外で様々な企業、職種があることを理解し、職業観及び勤労観の喜びを深めるために、幅広く取り組む必要があり、「ジョブシャドウイング(観察型キャリア教育)」、「中学生多良間村課題解決プログラム」、「職場体験(体験型キャリア教育)」を通して、社会人としての規律・礼儀・言葉づかいの大切さを知る機会、児童生徒に将来の生き方について考えさせ、進路の選択に生かせる機会とし、情操教育に繋げ、将来を担う児童生徒の育成に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
10,636	10,636	8,508	2,128	0



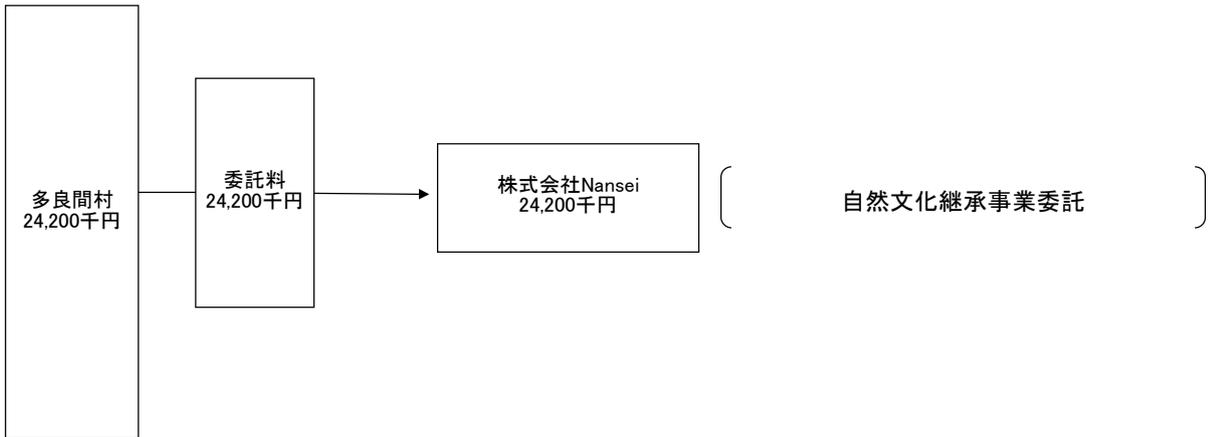
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争入札により選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	○不用額がほとんどなく、予算規模は適正な規模と考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○支払いの度に検査を行い、目的に即し、必要なものだと判断する。

市町村名		多良間村					
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑤	多良間村自然文化継承事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア	
担当部課名	多良間村教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成30年度～令和6年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及 Ⅲ-3-(3)	
事業内容	多良間村の自然文化継承し、これらを観光資源として活用するため、郷土資料の修復や調査記録等を編集するための整理を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		(a) 当初予算額	16,967	33,928	33,343	23,500	24,380
	(b) 予算現額	16,351	33,268	33,097	23,364	24,200	
	(c) 増減額(b-a)	-616	-660	-246	-136	-180	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	16,351	33,268	33,097	23,364	24,200	
	B. 執行済額	16,351	33,267	33,097	23,364	24,200	
	うち交付金充当額	13,080	26,613	26,477	18,691	19,360	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	当初の計画通りで、想定内の予算執行状況であった。なお、180千円の減額は入札残である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	郷土資等の修復、公開	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	年中行事の調査記録編集整理	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
達成状況説明	郷土資等の修復、公開及びシンポジウム開催、現代語訳本・解説版の出版、年中行事の調査編集、デジタルアーカイブを構築し目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
		①ふるさと民俗学習館の村民利用者数175人以上	目標	()	(177人以上)	(177人以上)	(175人)
		実績	/	137人	169人	207人	/
	②ふるさと民俗学習館の観光客利用者数309人以上	目標	()	(652人以上)	(652人以上)	(309人以上)	()
		実績	/	321人	743人	1,073人	/
	③シンポジウム来場者数60人以上	目標	()	(50人以上)	(50人以上)	(60人)	()
実績		/	61人	90人	130人	/	
進捗状況説明	・ふるさと民俗学習館利用者は、村民利用者数・観光客利用者数とも目標を達成した。 ・シンポジウム、多良間島と宮古島、2ヶ所で開催し、対面とオンラインで実施、アトラクションも青年会による組踊りをもした演舞で古文書への理解がさらに深まり目標を達成した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(村内の利用者数・観光客利用者数) ・新型コロナウイルス感染症禍で減少した旅行需要の回復や、村内の対策緩和、村内イベントが再始動し、古文書の修復・翻刻・現代語訳の完成、シンポジウム・報告会開催、アーカイブツーリズムの普及により、受入態勢が整い充実し始めたことが目標値達成の要因と考えられる。	(村内の利用者数・観光客利用者数) ・目標実現に向け、引き続き古文書の修復・翻刻・現代語訳・電子化を行い、手に取りみてもらう為の複製本の制作、古文書から派生する島の年中行事を調査し地域学習に繋げ、アーカイブツーリズムの拡充とデジタルアーカイブの整備と内容を充実させ、情報発信を強化することで利用者の増に繋げる。
	(シンポジウム来場者数) ・開催方法を「来場型」「オンライン型」の同時ハイブリット式を2ヶ所で開催したことが功を奏した。また、宮古島でのアトラクションを村内青年会の古文書の中の組踊りを題材にした演舞を披露することで郷友会の参加が増え目標を大きく上待った。	(シンポジウム来場者数) ・今後も開催方法をハイブリット型にし、村内学校と連携し事業の理解と広報を行い、ふるさと民俗学習館の利用促進を図る
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・所蔵資料の完成した現代語訳・解説版活用し、企画展やシンポジウムの開催、地元の歴史を知る学習資料として貸出教材としての活用を促進する。 ・アーカイブツーリズムの内容充実を図るため、掲載写真を360度画像(パノラマ写真)にし臨場感のある内容にする。古写真や観光関連の挿入も増やす。 ・デジタルアーカイブの掲載ページを観光・文化関連のページにリンク依頼を行い情報発信を行う。 ・ホームページでのWEB公開を行い多良間の歴史文化に興味を持った方々がよく訪れる観光スポット、地元の歴史を知る学習資料として活用する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
24,200	24,200	19,360	4,840	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算額も事業内容に見合った執行となっており、適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した

市町村名	多良間村
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-⑥	多良間中学校グラウンド舗装工事(外周路)	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-イ
担当部課名	教育課	事業実施 (予定)年度	平成29年度～ 令和5年度	スポーツ環境の整備
			沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(9)

事業内容
 村民等の交流機会や運動機会の確保を図るため、ジョギングコースとして多良間中学校グラウンドの外周路を改修する。

効果発現年度
 当年度 後年度(年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		R5年度					
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	9,900				
		(b) 予算現額	7,315				
		(c) 増減額 (b-a)	-2,585	0	0	0	
		(d) 繰越額				0	
		A. 計 (b+d)	7,315	0	0	0	
		B. 執行済額	7,315				
		うち交付金充当額	5,852				
		次年度繰越額				0	
		執行率 (%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		予算の状況の説明	当初の計画範囲内の予算執行であった。2,585千円の減額は入札残である。				

活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況				
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		外周路の舗装工事実施	目標	(工事の実施)	()	()
	実績	工事の実施				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	今年度計画していた外周路の舗装工事が完了し、目標を達成できた。					

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度		目標値 (年度)
		舗装工事の完了	目標	()	(工事の実施)	()
		実績		完了		
	【参考指標】 外周路の舗装工事の完了	目標	()	(工事の完了)	()	()
		実績		完了		
進捗状況説明	今年度計画していた外周路の舗装工事が完了し、目標を達成できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	グラウンドの外周路の整備が完了し、村民のウォーキングやジョギングコースとしての体育活動や健康増進のための快適な環境づくりにつながった。	外周路の整備が完了することにより、雨天後でも使用できるグラウンドの環境づくりができた。今後の改善点等については、学校等と情報共有しながら取り組んでいく。
今後の取り組み方針		
<p>外周路の整備を完了することにより、雨天後でも使用できる体育環境の改善をおこなうことができた。今後も村民の健康増進へつなげていく。また村内の陸上大会、運動会など、その他スポーツ教室の開催や島外からのスポーツクラブ等の合宿などで使用されてきた。今後も総合的なグラウンドとしての機能の展開につなげる。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	7,315	7,315	5,852	1,463	0
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">多良間村 7,315千円</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">委託料 1,925千円</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">(株)大協企画コンサルタント 1,925千円</div>	<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;">多良間中学校グラウンド舗装工事 (外周路) 監理委託業務</div>		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">工事費 5,390千円</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">株式会社 系数興業 5,390千円</div>	<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;">多良間中学校グラウンド舗装工事 (外周路)</div>		

資金の流れの点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は指名競争入札で選定しており妥当であったと考えている。</p> <p>○予算額も事業に見合った執行となっており、適正な規模であった。</p> <p>○費目、用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	多良間村
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-⑦	電子黒板整備事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ウ
担当部課名	教育課	事業実施(予定)年度	令和5年度	公学習環境の充実
			沖縄振興基本方針該当箇所	3-3-(1)

事業内容
 将来を担う児童生徒の人材育成及び学力の向上を図るため、小中学校に電子黒板を整備し、児童生徒の興味関心を引き出し、わかりやすく集中力を高める授業環境を整える。

効果発現年度 当年度 後年度(年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		R5年度					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	14,322				
		(b) 予算現額	14,190				
		(c) 増減額 (b-a)	-132	0	0	0	
		(d) 繰越額				0	
		A. 計 (b+d)	14,190	0	0	0	
		B. 執行済額	14190				
		うち交付金充当額	11352				
		次年度繰越額				0	
		執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		予算の状況の説明	入札残による事業計画変更による予算減が生じたものの、全額執行にいたった。				

活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況			
		R5年度			
小中学校に電子黒板の整備	目標	(整備)	()	()	()
	実績	整備完了			
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	今年度計画していた小中学校への電子黒板の整備が完了し目標を達成できた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値(年度)	R5年度			目標値(年度)
		目標	()	(実施)	()	()
	実績		実施完了			
	【参考指標】 小中学校に電子黒板整備完了	目標	()	()	()	()
進捗状況説明	今年度計画していた小中学校への電子黒板の整備が完了し目標を達成できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の電子黒板を活用した授業の展開 ・電子黒板を活用した児童生徒の授業への取り組み 	積極的に電子黒板を活用した事業の展開ト取り組み。
今後の取り組み方針		
積極的に電子黒板を活用した授業の展開を促進する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
14,190	14,190	11,352	2,838	0
<pre> graph LR A[多良間村 14,322千円] --> B[備品購入 14,322千円] B --> C[株式会社オキジム宮古支店 14,322千円] subgraph D [] C end style D fill:none,stroke:none </pre>				

資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○備品購入事業者は、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算額も事業内容に見合った執行となっており、適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	多良間村
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-①	多良間村自動車航送負担コスト軽減事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-ア 人流・物流のコスト低減と情報 通信基盤の強化
担当部課名	総務財政課	事業実施 (予定)年度	平成27年度～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所
III-9-(2)				

事業内容
離島住民の利便性を確保するため、高額である多良間島⇄宮古島間のフェリー自動車航送に係る運賃補助を実施する。

効果発現年度
 当年度 後年度(年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の 状況	(a) 当初予算額	1,574	1,715	1,157	1,374	1,582
		(b) 予算現額	1,112	1,715	1,157	1,474	1,582
		(c) 増減額(b-a)	-462	0	0	100	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	1,112	1,715	1,157	1,474	1,582
		B. 執行済額	916	1,144	1,157	1,307	1,231
		うち交付金充当額	733	915	926	1,045	985
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	82.4%	66.7%	100.0%	88.7%	77.8%
		予算の状況の説明	当初計画よりも利用者数は伸びなかったため、351千円の不用額が発生した。広報や各戸チラシ配布等とおして、フェリー等で車を運送する住民に、本制度の利用を周知し、住民負担の軽減を図る。				

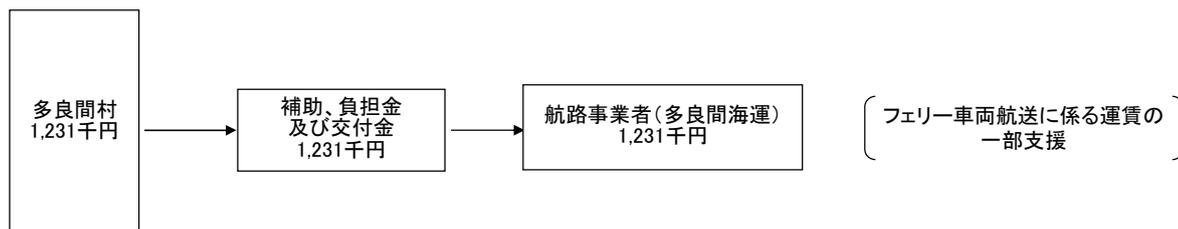
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		宮古島⇄多良間島間の自動車航送運賃の補助	目標	(軽減)	(補助)	(補助)
	実績	軽減	補助	補助	補助	
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成 状況 説明	年間を通じて運賃補助を実施し、住民の宮古島⇄多良間島間の自動車航送コスト負担を軽減できた。自動車航送に係る運賃補助の実施台数は前年度96台、今年度は85台であった。					

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)	
		運賃補助によって宮古島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績		98.66%	95.23%	100.00%	
			目標	()	()	()	()	()
	実績							
進捗 状況 説明	利用者へのアンケートの結果、今年度は100.00%の島民が宮古島市へ移動しやすい環境の構築が図られたと回答し、成果目標を達成した。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	前年度に比べて利用台数は96台から85台に減少した。利用者の増加に対応できる予算の確保を行う。	利用状況の確認をこまめに行い、予算が不足することがないように取り組む。また、引き続き連絡を密にし、問題点、改善点の把握に努める必要がある。
今後の取り組み方針		
毎月の概算払いにおいて、月ごとの利用者数を把握するとともに、航路事業者と連絡をこまめに取り、利用者の状況や問題点、改善方法を協議し対策を講じることで、更なる本事業の効果向上を図る。また、広報や各戸チラシ配布等で周知の徹底を図る。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,231	1,231	985	246	



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、航路事業者が1事業者しかいないため妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○実績の状況に応じ年度内で事業費の増減を行うなど、事業内容に見合った予算規模となっている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○利用者も一定の負担をしており、受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については実績報告時において支出等に関する書類により確認適正であった。

市町村名	多良間村
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-②	多良間村離島住民交通コスト負担軽減事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-ア
担当部課名	総務財政課	事業実施 (予定)年度	令和5年度～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所
		離島の振興に資する事業等		
		Ⅲ-9-(2)		

事業内容
 定住条件の厳しい多良間村において、航空事業者、村及び県が連携し、村住民等の割高な航空運賃を低減することで、移動に伴う負担を軽減する。

効果発現年度
 当年度 後年度(年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		R5年度				
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	1,633			
		(b) 予算現額	1,633			
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0
		(d) 繰越額				
		A. 計 (b+d)	1,633	0	0	0
	B. 執行済額		1,244			
	うち交付金充当額		995			
	次年度繰越額					0
	執行率 (%) (B/A)		76.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	予算の状況の説明		コロナ前の搭乗者数を見込んだ事業費としていたが、想定どおりの搭乗数に至らなかったため、389千円の不要額が発生した。			

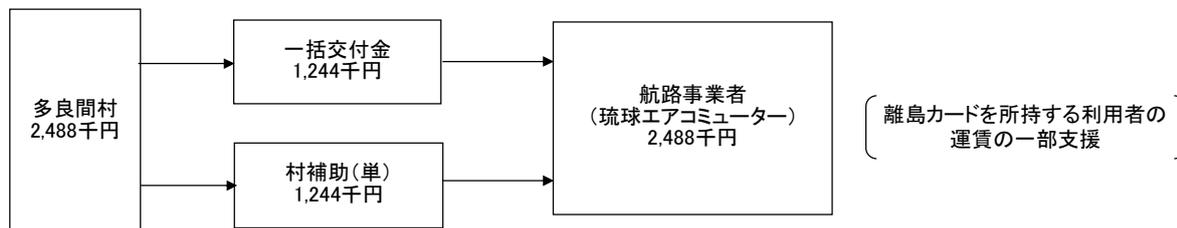
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		村民(離島カード所持者)が利用する宮古島⇄多良間島間の値上がりする航空運賃に対する補助(4月～9月の半年間利用者負担分の5割を補助)	目標	()	()	()
	実績				利用者負担分5割補助	
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	離島カード所持者とする多良間村民が対象。宮古島⇄多良間島間の値上がりする航空運賃に対し4月～9月半年間のみ利用者負担分の5割を補助。					

成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
		宮古島⇄多良間島間の航空路を利用する村民(離島カード所持者)への補助適用率:100%	目標	()	()	()
		実績				100%
		目標	()	()	()	()
		実績				
進捗状況説明	宮古島⇄多良間島間の航空路を利用する村民(離島カード所持者)への補助適用率:100%を達成することができた					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	令和5年4月よりコロナ禍や価格高騰の影響に伴い、今回航空運賃が引き上げられた。これらが改善される見込みがない場合、今後の交通コスト負担増に伴う、人的・物的な障害とならないかが懸念される。	引き続き交通コスト負担軽減、離島の不利性を軽減し安定的な定住環境を維持する取り組みを行う。
今後の取り組み方針		
<p>離島の離島である本村において海上及び航空路は島内で生活をするためにも必要不可欠です。航空運賃引き上げにより交通コストへ負担が増えること、人的・物的な移動に障害が出てしまう懸念があることから、島内で生活する村民が安心して暮らせる村づくりを行うため、関係機関と協力しこれらの問題に対応していく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,488	2,488	1,244	1,244	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先については、航路事業者が1事業者しかいないため妥当である。</p> <p>○事業内容に見合った予算規模となっている。</p> <p>○利用者も一定の負担をしており、受益者との負担関係は妥当である。</p> <p>○費目・用途については実績報告時において支出等に関する書類により確認適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 多良間村

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

Table with 4 columns: 事業番号・事業名 (5-①, 多良間村心身障害児等渡航費助成事業), 担当部署名 (住民福祉課), 事業実施(予定)年度 (令和3年度～令和14年度), 新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 (第4章-2-(8)-ウ, 公平で良質な医療・福祉サービスの確保, III-4-(2)), 沖縄振興基本方針該当箇所

事業内容 本村に居住する心身障害児等が治療・療育支援等のために島外の医療機関等に受診する際の航空運賃及び宿泊費を助成する。

効果発現年度 当年度 後年度(年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

Table with 7 columns: 予算額・執行額 (「交付金」+「市町村負担」ベース), R3年度, R4年度, R5年度, 年度, 年度. Rows include: (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額(b-a), (d)繰越額, A.計(b+d), B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%) (B/A), 予算の状況の説明

Table with 5 columns: R5活動目標(指標), 達成状況 (R3年度, R4年度, R5年度, 年度). Rows include: 対象者の申請に対し助成金を交付する. 達成状況説明: 島外専門医療機関へ通院する際の旅費及び宿泊費を助成することができた。

Table with 7 columns: R5成果目標(指標), 基準値(R3年度), R3年度, R4年度, R5年度, 目標値(年度). Rows include: 渡航費支援が必要な児童への支援率100%. 進捗状況説明: 受診回数が予測できない中ではあるが、渡航した対象者に支援ができ経済的負担の軽減を達成できた。

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	受診回数など予測できない部分があるので予算確保が困難である。	目標は達成できているが、今後も対象者が増えることも考慮して、対象者への周知と支援方法の内容を検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
今後も継続して、住民の経済的負担を軽減し福祉の増進を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">総事業費</th> <th rowspan="2">交付対象事業費</th> <th colspan="2">交付金</th> <th rowspan="2">交付対象外経費</th> </tr> <tr> <th>充当額</th> <th>市町村負担金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>437</td> <td>437</td> <td>350</td> <td>87</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費	充当額	市町村負担金	437	437	350	87	
総事業費	交付対象事業費			交付金			交付対象外経費						
		充当額	市町村負担金										
437	437	350	87										
	<pre> graph LR A[多良間村 437千円] --> B[助成金 437千円] B --> C[対象者 437千円] </pre> <p>〔治療・療育支援等に係る航空運賃、宿泊費等の助成〕</p>												

資金の用途の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は交付要綱に基づき決定している。 ○予算規模に関しては受診頻度が予測できないため、執行率が低くなっているが、規模に関しては適正と考える。 ○受益者は実費の1割を負担しており、助成額に関しても上限を設けているため妥当である。 ○費目・用途については、経済的負担の軽減と福祉の増進を図る為に使われているため適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		多良間村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-①	たらびん公園整備工事			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-イ		
担当部署名	多良間村役場 土木建設課	事業実施(予定)年度	令和4年度～令和5年度		沖縄振興基本方針該当箇所	安全・安心に暮らせる島を目指す Ⅲ-4-(2)		
事業内容	村内にはかつて遊具のある公園があったが、現在では老朽化のために村内の子供たちが遊べる遊具がなく、村内の子供たちに良好な環境の改善、豊かな地域づくりに資する交流を提供する場として、遊具付公園を整備する。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(6 年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 〔「交付金」+「市町村負担」ベース〕			R4年度	R4年度繰越	R5年度	R5年度繰越		
	予算の状況	(a) 当初予算額	65,000		85,000			
		(b) 予算現額	64,680		84,700			
		(c) 増減額(b-a)	-320	0	-300	0	0	0
		(d) 繰越額		38,808		50,820		
	A. 計(b+d)		64,680	38,808	84,700	50,820		0
	B. 執行済額		25,872	38,808	33,880	50,820		
	うち交付金充当額		20,697	31,046	27,104	40,656		
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		40.0%	100.0%	40.0%	100.0%		#DIV/0!
予算の状況の説明		年度内完了を目標としていたが、令和4年度の資材到着の遅れ等により繰越が発生した。それに伴い、令和5年度事業に遅れが発生したが、予算については不用額もほぼ無く執行することができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
			R4年度	R4年度繰越	R5年度	R5年度繰越		
	大型アスレチック遊具等の設置	目標	運動不足等の解消する場所を提供する	運動不足等の解消する場所を提供する	たらびん公園の完成	たらびん公園の完成		
		実績	運動不足等の解消する場所を提供する	運動不足等の解消する場所を提供する	たらびん公園の完成	たらびん公園の完成		
		目標	()	()	()	()		
	実績							
達成状況説明	令和4年度の工事が繰越になり令和5年11月完了、前年度の遅れにより完成時期が遅れたがR6年度5月に公園が完成する見込み。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R5年度	R5年度繰越	R5年度	目標値(年度)	
	大型アスレチック遊具等の設置完了	目標	()	(80%)	(80%)	()	()	
		実績		40%	100%			
		目標	()	()	()	()	()	
		実績						
進捗状況説明	令和4年度の工事が繰越になり令和5年11月完了、前年度の遅れにより完成時期が遅れたがR6年度5月に公園が完成見込み。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	完成後運動不足等の解消の効果の程を地域住民に向けアンケートにより図っていく。	公園施設の使用により地域住民の生活習慣病の改善メタボの解消、児童の憩いの場としてのスペースの確保を目指す。
今後の取り組み方針		
公園完成後、使用状況についてアンケート調査を実施し、住民の運動や生活習慣病の改善メタボの脱却に繋がる点、効果の程を検証していく。その中で村民の大多数が健康促進や子育て環境の向上に繋がったと感じている人の割合の増加を目指す。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
84,700	84,700	67,760	16,940	0
<pre> graph LR A[多良間村 84,700千円] --> B[工事請負費 84,700千円] B --> C["(有)知念重機産業 84,700千円"] subgraph D [たらぴん公園整備工事] C end </pre>				

資金の流 点検 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、工事を請け負った(有)知念重機産業であり事業を円滑に進めることができること、入札により落札した業者であり妥当と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算現額について、事業内容に見合った執行となっており、適切な予算規模と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○指名競争入札により落札された業者であり妥当と考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に対し必要なものであったと判断した。

市町村名	多良間村
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-①	ヤシガニ生息状況調査及び表示板設置事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(2)-ア
担当部課名	観光振興課	事業実施 (予定)年度	令和5年度～ 令和10年度	環境の保全に資する事業
			沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10-(1)

事業内容
ヤシガニ生息状況調査を行い標識番号、性別、甲長、体重、確認環境、写真等を記録してヤシガニ保護利活用に資する取り組みを行う。一方、表示板を設置してヤシガニの保全と啓蒙普及に努める。

効果発現年度
 当年度 後年度(年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		R5年度				
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	(a) 当初予算額	6,800				
	(b) 予算現額	6,745				
	(c) 増減額 (b-a)	-55	0	0	0	0
	(d) 繰越額					0
	A. 計 (b+d)	6,745	0	0	0	0
	B. 執行済額	6,707				
	うち交付金充当額	5,366				
	次年度繰越額					0
	執行率 (%) (B/A)	99.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	予算の状況	予算の状況の説明 当初の計画通りで、想定内の予算執行状況であった。なお、55千円の減額は入札残である。				

活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況			
		R5年度			
ヤシガニの生息調査 150匹	目標	(150匹)	()	()	()
	実績	2,035匹			
ヤシガニの保全と啓蒙普及に資する表示板の設置	目標	(10か所)	()	()	()
	実績	10か所			
達成状況説明	当初の計画では150個体を目標としていた。調査は多良間島3回、水納島1回実施した。多良間島の1回目調査では確認328個体全てに標識、2回目調査では確認342個体のうち340個体に標識、3回目調査では確認517個体全てに標識し、計1,187個体のうち計1,185個体に標識した。標識を行った個体のうち、オスが553個体(46.7%)、メス628個体(53.0%)、性別不明が4個体(0.3%)であった。一方、水納島では、850個体を確認標識した。オスが605個体(71.2%)、メスが240個体(28.2%)、性別不明が5個体(0.3%)であった。多良間島では雌雄の比率がほぼ同じであったのに対し、水納島では性比がオスに偏る結果となった。 表示板設置については、多良間島の一週道路に9ヶ所、水納島に1ヶ所、計10ヶ所設置した。				

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値 (年度)	R5年度			目標値 (年度)
		①ヤシガニ生息状況調査・・・ヤシガニの採取は、繁殖期2回、非繁殖期1回行い150個体を目標とする。	目標	()	(150個体)	()
	実績		2035個体 (1356%)			
【参考指標】②注意喚起・啓蒙普及表示板設置・・・表示板は島内の一週道路沿いに10か所ほど選定して設置する。	目標	()	(10か所)	()	()	()
	実績		多良間島9カ所 水納島1カ所			

進捗状況説明
ヤシガニ生息調査については、第一線でフィールドワークに基づき研究している甲殻類の専門家を調査に参入してもらった結果、調査個体数の増加が顕著にあった。
表示板設置については、反射板も併用しておりロードキルに対する注意喚起に繋がっている。また、ヤシガニの生態についても誕生から成体までをサイクルにして示してあるので、理解しやすいと村民や観光客からも好評である。

